

平成 18 年 12 月 22 日

関東鉄道株式会社

取締役社長 須田哲雄 殿

「かしてつ応援団」(鹿島鉄道沿線中高生徒会連絡会)

加盟生徒会 中学校：石岡 小川北 小川南 玉里  
玉造 銚田北 銚田南  
高校：石岡一 石岡二 石岡商 小川 玉造工  
中央 銚田一 銚田二 八郷

## 「鹿島鉄道線」の運行継続への協力を求める要望書

日頃より私たちの大切な交通手段である鹿島鉄道やバスに物心両面のご支援をいただき、ありがとうございます。親会社である貴社のお力で鹿島鉄道とバスは今日も元気に走り続けています。

さて、鹿島鉄道株式会社は11月19日に、「鹿島鉄道線」からの事業撤退を最終的に発表しました。地域の人たちの夢と希望を運んで84年、地域に大きな貢献をしてきた鉄道事業からの撤退は、さぞや辛い決断であったらうと思います。私たちは鹿島参宮鉄道、関東鉄道銚田線、鹿島鉄道と会社名を変えながらも、地域の公共交通機関として頑張ってきてくれたことにととても感謝しています。貴社が親会社として厳しい経営を続けてきた鹿島鉄道株式会社に対して、立派に社会的責任を果たしてきたことは、誰もが認めるところです。

鹿島鉄道株式会社が鉄道事業から撤退するとはいえ、石岡市と銚田市を結ぶ「鹿島鉄道線」は私たち高校生はもちろんのこと、年間80万人、1日2千人を超える利用者にとって欠かせない公共交通機関です。もし廃線になってしまえば、現在の高校1、2年生の通学も困ってしまいますし、来年受験を迎える中学3年生の高校の選択も大変になってしまいます。また、8月の「かしてつ祭り」には4千人が参加し、「再生基金の予約」には1600人が応募するなど、利用しやすい鉄道であれば、乗客増が見込めます。

幸い、新しい鉄道事業者を公募して条件が満たされれば、「鹿島鉄道線」の運行が継続できる道が開かれ、2つの事業者が立候補して鹿島鉄道対策協議会の審査を受けています。そこでお願いですが、もし新しい事業者が認められた場合には、「鹿島鉄道線」のスムーズな運行継続のために、貴社に全面的な協力をしていただきたいのです。たとえば、3月31日に廃止が予定されていますが、新事業者が運行を引き継げるようになるには1年程度かかると聞きますので、ぜひ鹿島鉄道株式会社に4月1日からも運行を継続していただきたいのです。「鹿島鉄道線」が運行停止になってしまえば、私たちの通学や生活の手段が限られたものになってしまいます。ぜひ茨城県南部の公共交通機関として今までがんばってきた実績と能力を生かして、鹿島鉄道線の運行継続に社会的な責任を果たして下さい。

### 要望事項

- 1 「鹿島鉄道線」の新しい事業者が認定された場合は、スムーズな運行継続のために、全面的な協力をお願いします。
  - ① 4月1日以降の鹿島鉄道株式会社による1年間の運行継続
  - ② 運行に必要な土地、施設・設備、人員などの新事業者へのスムーズな移行
- 2 「鹿島鉄道線」の新しい事業者が認定されなかった場合は、県や沿線4市と共に代替バスなど私たちの交通手段の確保に、力を尽くして下さい。